和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第31号
2021年3月16日

SG 課題研究Ⅱ　成果発表会
分科会（4）

移民難民
班別テーマ一覧

A01班	多文化共生を目指して	B01班	WE MAKE OUR WORLD HAPPY
A02班	難民を救う魔法の募金箱 ～We are the world～	B02班	難民の受け入れ
		B03班	難民のオリンピックの関係について
A03班	外国人にやさしい町づくり	B04班	難民の現状
A04班	難民についてもっと考えよう	B05班	難民の健康

移民難民分科会
全体報告

今年度は「移民難民」のみに注目するのではなく、日本に在留する外国人や外国人観光客らが生活する中で感じる課題について研究した班が複数みられた。また、例年通り移民難民に注目し活動した班では、トルコ大使館や東京の小学校へ質問状を送るなど、活発に情報収集を行っていたように感じた。生徒の中には「活動を通して幅広い視点を持つことができた」と感想を述べる者もおり、それぞれ充実した探究活動であったと考える。

和歌山大学観光学部の東教授からは、多様な視点から課題に対する調査分析を行ったことや、その内容を基に考えた解決策をそれぞれの班でしっかりまとめ、ポスターの構成や発表方法を工夫することが出来ていたと賛辞をいただいた。また、複数班がSDGs とつなげた発表をしていたことも評価してくださり、自分のことだけでなく社会の問題解決を考察する視点は、広い視野をもつために大切なことであると総括してくださった。

発表者による振り返り

B02 班「日本とトルコの難民受入について」　２年５組　北村あずみ

「移民・難民」という大きな枠組でしたが、全体を通して振り返ると、食べ物、オリンピック、町の飲食店など、さまざまな範囲と多角的な視点から、問題解決に向けたアイデアが出されていた発表会でした。また、具体的な活動をしている班も多く、興味関心の幅がよりいっそう広がりました。「自分たちにできること」がこんなにもあるのだと実感したのと同時に、店舗など身近なところで、課題解決に向けての様々な活動ができるということを知ることができました。

また、大学教授からの質問や講評を経験することで、自分の学びや、研究の過程についてよく考えるきっかけになりました。今後の研究や進路に生かしていきたいと思います。